

別紙様式5号（別記1のIの第3の3及び4並びに別記2のIの第2の3及び4関係）  
都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1 産地基幹施設等支援タイプ

（山口県：令和6年度）

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニュー① 類別	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	メニュー② 類別	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
				計画時(令和3年)	1年後(令和4年)	2年後(令和5年)	3年後(令和6年)	目標値(令和6年)	達成率				計画時(令和3年)	1年後(令和4年)	2年後(令和5年)	3年後(令和6年)	目標値(令和6年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
柳井市	山口県農業協同組合	野菜(リーフレタス)	EG1	当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が90%	契約取引の割合0% (新規導入品目のため)	契約取引の割合100% (事業実施中(一部繰越))	契約取引の割合98%	契約取引の割合90%	108.8%	当該品目の全出荷量に占める契約取引の割合が98%となった。	野菜(リーフレタス)	I1	当該品目の全出荷量に占める上位規格品の割合を90ポイント増加	上位規格品の割合0%	上位規格品の割合0%	上位規格品の割合100%	上位規格品の割合100%	上位規格品の割合90%	111.1%	当該品目の全出荷量に占める上位規格品(A品)の割合を100ポイント増加した。	生産技術高度化施設 高度技術導入施設 ・養液栽培装置一式 ・複合環境制御装置一式 ・加温装置一式 ・その他附帯設備一式	1,133,000,000	499,729,000	0	0	633,271,000	令和5年8月4日	成果目標である契約取引の割合の増加及び上位規格品の増加とともに達成した。 しかしながら、既存出荷先における実需ニーズの減少に伴い、生産量を減らざるを得ない状況になり、生産数量は目標数量に達していない。 そのため、既存の取引先その他、新たな出荷先の確保が必要となり、県内量販店との直接交渉や、実需に関する市場関係者からの情報収集など、新たな販路開拓を行っている段階である。 今後は、販路開拓と生産数量の拡大をバランスよく進めていくことで収益性の改善を図る。	成果目標である契約取引の割合の増加及び上位規格品の増加とともに達成した。 しかしながら、全生産物を出荷できるだけの販路を確保できていない課題が残っている。 生産面については、疫病の発生により生産できない時期があったものの、その後回復しており、関係機関も定期的に巡回指導を行っていることから、安定生産が見込まれる。 販売面については、自社で販路開拓するとともに、関係機関の支援もあり、徐々に販路開拓が進んでいる状況である。 今後も引き続き、関係機関が連携し、生産、販売面で支援を行っていく。	
萩市	山口県農業協同組合	野菜(トマト)	Z1	単位面積当たりの化学農薬の使用回数の20%削減	10a当たりの化学農薬使用回数28.4回/10a	10a当たりの化学農薬使用回数24.6回/10a	10a当たりの化学農薬使用回数22.3回/10a	10a当たりの化学農薬使用回数21.7回/10a	117.5%	単位面積当たりの化学農薬の使用回数が24%削減された。	野菜(トマト)	EG3	出荷規格数の33%削減	63規格	63規格	42規格	42規格	42規格	100.0%	出荷規格数が33%削減された。	集出荷貯蔵施設 集出荷施設 ・選果ライン一式(外観品質センサー1台、製函機1台、データ処理設備一式、附帯設備一式)	234,300,000	106,500,000	0	0	127,800,000	令和5年6月26日	高度な選果機導入により、キズ選別のデータを農家に共有することで化学農薬の使用回数が削減されるとともに、実需者の求める一定範囲内の品質を確保しつつ出荷規格数も計画どおり削減され、成果目標を達成した。 しかし、担い手の減少による栽培面積の減少や、夏期の高温による生育不良により、生産量は目標を下回っている。 今後、市・県等関係機関と連携しながら新規就農者の確保に取り組むとともに、高温耐性品種の実証試験等生産安定に向けた取り組みを継続することで、生産量増加を図る。	選果データを活用したJ.A.、県等関係機関による技術指導により化学農薬の使用回数が削減されるとともに、出荷規格数も計画どおり削減されることで、成果目標は2つとも達成された。 しかしながら、産地の担い手の高齢化や減少による栽培面積の減少に加え、猛暑による生育不良により、生産量は目標に達していない。 その対策として、就農ガイダンスへの参加や産地見学ツアーの実施による新規就農者確保に取り組むとともに、生産面では、高温対策の実証試験を行うなど、生産増加に向けて積極的に取組を進めている。 今後も関係機関が連携しながら、生産量の確保に向けた取り組みを支援していく。	

都道府県平均達成率	100.0%	総合所見	県平均達成率は100.0%と達成となった。 しかしながら、生産量は当初計画に達していないことから、引き続き関係機関と連携しながら栽培管理指導を行い、生産量向上を図る。
-----------	--------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の1の(2)のIに準じて作成すること。  
2 要綱別記1のIの第2の2の(2)のただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。